

## 「見たいところが見える」すっきりとした視界

クルマの安全性能がどんなに進化しても、すべての基本になるのは「運転する人が、きちんとまわりの状況を判断できること」です。あたらしいN-WGNは、普通に走っているだけでも、まわりを走る他のクルマやバイクの気配まで感じられるような、すっきりした視界を追求。ヘッドライトの点灯、ハイビーム・ロービームの切り替えも自動で行い、夜間の「よく見える」をサポートします。

### 前方視界

ドライバーの近くにあり、運転中は常に視界に入るフロントピラーは、ハイテン材の使用により先代N-WGN同等以上の強度を確保しつつ、6mm細幅化しました。これにより、交差点を曲がる時、カーブを曲がる時の広々とした視界を実現。ワイパーも運転時の視界に入らないよう、搭載位置を下げて、より運転に集中できる環境をつくりあげました。



### 後方視界

リアもワイパーモーターをウインドウにかからない位置に搭載することで、広々とした後方視界を確保。走行中、駐車時の後方確認を快適に行えるようにしました。すっきりとスクエアなかたちの視界を確保することで、周辺の建物等との対比がさせやすく、バック駐車時の車両感覚のつかみやすさにも寄与させています。またカメラの画素数向上と、ゆがみを軽減する映像処理により、バックモニターはより鮮明な映像を表示できるようになりました。



### デフォルトオート機能付ヘッドライト

夜間または周囲が暗い場合、走行中は常にヘッドライトが自動で点灯し、「点け忘れ」を防止します。手でヘッドライトを消灯した場合も、走り始めると自動で再点灯。従来の「オートライト」よりも周囲が明るい段階からライトがONになるよう、制御を変更しています。N-BOXと同様、オートハイビームも採用し、前を走る車のテールランプや対向車のヘッドライトをカメラで認識してハイビームとロービームを自動で切り替え。出発から到着まで、わずらわしいスイッチ操作を一切不要にしました。

